

4/25

2012年第1105号

(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
 大阪府浪速区幸町1-2-33
 電話(06)6568-7731(代)
 http://osk-net.org/
 ●定価・年間10,000円 月1,000円
 ●1977年5月23日第三種郵便物認可

口から見える健康と歯科医療を考える

市民講座 「口は命の入口、心の出口」

◇5月20日(日) ◇M&Dホール



同封の案内チラシに詳細

保険でよい歯科診療を大阪連絡会は「口は命の入口、心の出口」食卓の向こう側に見えるもの」をテーマに5月20日、総会・市民講座を開く(大阪府・大阪市が後援)。同会代表世話人の小澤力協合理事長が、参加を呼びかけている。

小澤理事長が呼びかけ

「保険でよい歯科医療を大阪連絡会」は、今年で3年目を迎えることができました。この間、「保険でよい歯科医療」の実現を求める署名は、大阪で3万8千筆、全国で28万筆に達しました。この署名を携えての国会



効果であれば他区でも実施

登録医制度 「導入ありき」の強硬姿勢

大阪市と懇談

大阪市の橋下市長は、生活保護の医療扶助費削減を目的に、西成区の生活保護受給者の受診を制限する「医療機関等登録制度」(案)を2月20日、発表した。歯科・歯科協会は4月6日、内容の説明を市当局に求める懇談会を西成区役所で開いた。また(案)の段階にもかかわらず生活保護受給者に告知文を送るなど、行政のルールさえ無視し制度の「導入ありき」を進めようとする役所の強引な行政運営を問う意見が参加者から相次いだ。協会から小澤力理事長・寺嶋洋幸理事、歯科協会から田端晃博理事・浅野隆司氏が参加したほか、事務局や医療団体から17人が参加、疑問や矛盾点を指摘した。

西成区の保健福祉課の担当者は「医療機関等登録制度」を導入する目的について、医療機関の重複受診や重複薬剤処方、不必要な訪問診療などを抑制し、適正な医療を確保するためとしたうえ

で、8月からの実施をめざすと述べた。さらに、同制度は「西成区で一定の効果認められれば、他の区でも実施する」と位置付けで行う」と述べたが、「一定の効果」の客観的な基準についての

説明はなかった。3月27日に保護決定通知書と一緒に送付した告知文には、「緊急時以外に医療券を持たずに受診した時は、自己負担していただくことありま

す」などと明記されている。緊急の場合など医療券や登録証を持たずに患者が

「緊急時は医療券なしでも受診可」小澤理事長は、「緊急で医療券がいらぬ場合の基準や、慢性疾患の基準が明確でない。医療機関には応召義務がある。緊急の場合など医療券や登録証を持たずに患者が

が、今までもどれくらいの重複受診があったのか、どのデータも示さずに押し進めようとするのは強引過ぎる」との追及に対して、担当者は「現段階でそのようなデータは把握していない」と述べている。納得がいく

【医療機関等登録制度】生活保護受給者の医療機関の受診を各診療科1医院に限定する。通院する際、保健福祉センターが必要性を確認したうえで登録医療機関を決定し、「登録証」を発行する。原則として、登録医療機関以外には医療券を発行しないとされている。

おことわり
 本紙5月5日付は、ゴールデン・ウィークに伴う印刷・発送体制の都合から、休刊します。

り、参加者は受診抑制をうながすものであると指摘、「制度の詳細などがまだ確定していない段階で告知文を送付するのはおかしい」などの意見が集中した。

参加者から、「医療券を複数発行している人は把握していると言っているのに、わざわざ登録制を行う必要があるのか」「重複受診・重複薬剤処方の解消が目的という

て欲しい」の一点張りであった。

最後にリング上に勝ち残るのは国民大衆だろうが、また先は見えない。

私たちが庶民も馬鹿なのか、獄中の票が日本最高の人気物で、そのホームページがトップクラスのインフルエンサー(アクセスの多いHP)である。かつて権力に敢然と対抗したアメリカの新聞王国が経営不振で恥も外聞もなく、政府に援助を求めて泣きついている。

登録証の記載事項 (抜粋)

- ◇同一傷病で重複受診し、過剰な検査・薬剤を処方されることを防ぐため、1診療科は基本1医療機関の登録
- ◇薬剤については、登録薬局での一元管理
- ◇新たに医療機関を受診するときは、事前に担当ケースワーカーに相談
- ◇医療機関を受診するときは、登録証を提示

生保受給者への通知文 (抜粋)

重要
 緊急時以外に医療券を持たずに受診した時は、自己負担していただくことあります

外来環・歯援診 5・6月に研修会

施設基準の届出に対応

社保研究部は、歯科外来診療環境体制加算(外来環)と在宅療養支援歯科診療所(歯援診)の施設基準に係る研修を5月と6月に開く。

外来環の施設基準に係る研修会

日時 5月26日(土) 午後7時~9時
 講師 原田丈司氏(大阪大学大学院歯学研究科口腔外科学第一教室准教授)
 内容 ①偶発症に対する緊急時の対応、②医療事故、③感染症対策等の医療安全対策

歯援診の施設基準に係る研修会

日時 6月16日(土) 午後7時~9時
 講師 小正裕氏(大阪歯科大学高齢者歯科学講座教授)
 内容 ①高齢者の心身の特性、②口腔機能の管理、③緊急時対応等

【注意事項】両研修会とも会場・M&Dホール、定員・各100人(要事前申し込み)、会費・千円(受講証発行手数料含む)。参加は大阪府歯科保険医協会会員本人に限る(代理受講不可)。途中で入退場の場合は受講証発行の対象外。



5月放送テーマ

消費税アップで社会保障はどお～ナル

「医療どお～ナル」
 サンテレビで絶賛放送中
 歯科・医科協会のテレビ番組「医療どお～ナル」の制作が進んでいる。5月のテーマは「消費税アップで社会保障はどお～ナル」で、「社会保障」の制作が進んでいる。5月3日から毎週木曜、午後3時55分からサンテレビで放送する。

歯界

バトルロワイヤルというプロレスのゲーム形式がある。リング上の誰も敵だが、敵同士で争って敵を減らしてくれる奴は味方でもある。

覆面をした怪物みたいな連中がいっぱいいる。マスクを味方に付ければ法律なんか糞くらえで、世の中どうにでもなると心得ている奴が、世のリーダーやヒーローとして暴れている。粉飾決算で自殺者が出るほど人を泣かせて儲けて「何が悪い」と開き直る奴を有罪にする司法は、その一面では立派な正義の味方だが、別な面では何をやっているかわからない。

最後にリング上に勝ち残るのは国民大衆だろうが、また先は見えない。